

令和4年度 第2回碧南海浜水族館協議会議録（要約）

- 1 日 時 令和5年2月17日（金） 15：30～16：30
- 2 場 所 碧南海浜水族館 2階研修室
- 3 会議出席者（敬称略）
 - 会 長 小澤徹
 - 副会長 神谷晃
 - 委 員 小島広明、高松陽子、伊藤草華、浅井久夫、藤浦威明
水野裕子、長谷川哲巳、宮原英明、奥村仁成、阿知波英明
 - 参 与 生田弘幸、岡崎康浩
 - 事務局 森徹、地村佳純
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議概要
 - (1) 協議事項
 - ア 令和4年度事業報告について
 - イ 令和5年度事業計画について
 - (2) 報告事項
 - ア 令和4年度碧南海浜水族館運営研究会議について
 - イ 碧南海浜水族館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
 - ウ その他
 - (3) 連絡事項
 - ア 令和5年度第1回碧南海浜水族館協議会の日程について
- 6 議事および質疑
 - (1) 協議事項
 - ア 令和4年度事業報告について
 - 事務局 <資料1により説明>
 - 委員A ビオトープに飛来する野鳥の調査について説明
 - 会 長 何かご意見、ご質問はないか。
 - 委員A 市内の中学2年生を対象とした訪問授業について生き方講座と記されているがおそらくキャリア教育のことだと思う。中学生の

この時期に、働くことの喜びや厳しさ、労働の価値を学ぶことは将来に向けて大事なことだと思う。どのような内容のお話をされたのかお聞かせいただきたい。

事務局 近年は館長が対応している。南中学校では「達人に学ぶ会」とのタイトルに、水族館学芸員以外にも自動車整備士や、消防士、看護師、美容師、獣医師など多彩な職業人が招かれお話をしている。学芸員からのお話としては、担当者自身が中学2年生頃から水族館職員になりたいと思い始めた経験から挫折経験などを踏まえ、就職後の様々な業務内容やそれぞれの目的について紹介している。中学2年生はまもなく受験の時期であるが、闇雲に勉強するのではなく、大人になったらこんな仕事をしたいという夢や目標に繋がる通過点として受験に臨んでほしいとのお話もしている。

委員 B 新企画の「ダンゴムシ探検隊」とはどのような観察会か。

事務局 これまでの3年間は、コロナ対策の一環としてバスを利用せず、水族館の周辺でできる観察会を考えてきた。水族館付近の雑木林でダンゴムシが生活している環境を観察し、採集したダンゴムシを水族館に持ち帰り、箱の中の迷路を歩くダンゴムシ独特の生態を観察する内容である。

委員 B 会議出席の点で、関係機関とのオンライン参加が多いが、できる限り現地に出向き対面による協議が大切であるので是非予算を確保して参加してほしい。

事務局 現地参加の予算は確保できているが、今年度は前年度に引き続き開催施設がオンライン会議に限定することが多かった。ハイブリッド形式の際は現地参加している。

委員 B 環境DNAによる調査は委託したのか。

事務局 油ヶ淵については当館の予算で単独調査として学芸員が採水したものを調査会社に委託した。結果としては27種ほど検出された。三河湾については、全国の博物館に募集した一斉調査に応募した。その結果、師崎では59種が検出され、定期的実施している採集調査と照らし合わせることで精度を高めたいとのこと

である。

委員 B ネコギギの繁殖数が 1 個体だったが今後の計画は。

事務局 ネコギギはそもそも増えにくい種ということもあり、繁殖は年により上手くいったりいかなかったり安定していない。当館では、自然環境に極力負担がかからないように、長年飼育個体より累代繁殖に取り組んでいることから、産卵はするがその先の成長がなかなか難しい。今後必要な機会があれば特別採捕の許可を取った上で親魚を導入して取り組んでいきたいと考えている。

委員 B 水族館の職員数は。

事務局 正職員は再任用を含む 10 名、会計年度職員が 14 名、アルバイトが 4 名在籍している。アルバイトは土日祝日に交代で 1～2 名ずつ業務に従事している。その内学芸員は 3 名だが、1 名が育児休暇、1 名が再任用職員。館長も副館長も学芸員資格は有しているが役職があることからサポートに努めている。令和 5 年度は学芸員 3 名体制で活動に臨める見込みである。

委員 B 正職員が少ないような気がする。

イタセンパラ保全活動で連携している「世界淡水魚園水族館」とはどこの施設であるか。

事務局 アクア・トトぎふの正式名称である。イタセンパラの保全については、環境省中部地方環境事務所、岐阜県水産研究所、東山動物園とも連携している。

会 長 令和 4 年度事業報告について承認の挙手を求める。

全 員 挙手

会 長 令和 4 年度事業報告について承認されたことを確認した。

イ 令和 5 年度事業計画について

事務局 <資料 2 により説明>

会 長 何かご意見、ご質問はないか。

委員 A 最近では「どうする家康」というテレビ番組が話題になっているが、家康と碧南市はとても関わりが深い。永井直勝や水野勝成は碧南出身から家康の下で大名になった。竹千代の名は、家康が幼

少時に称名寺における連歌の会にて命名された経緯がある。また大浜の羽城の築城にも家康が関わっている。本能寺の変では家康が破れて伊賀から撤退した際に大浜港を經由して岡崎まで逃げ帰った。そこで、例年実施している岡崎市東公園動物園との連携行事の機会に、そのような家康に関わる行事も企画してはどうだろうか。残された文献によると家康は魚がとても好きで、静岡市興津沖に生息するアマダイが大好物であったそう。またシラウオも大好物であったそう。シラウオの頭部には三つ葉葵に似た模様があるなど、移動動物園が碧南海浜水族館に来る際に、アマダイやシラウオの展示と共にちょっとした家康コーナーを設けてはどうだろうか。

事務局 「どうする家康」に関連する事業として、市の商工課からも相談があったりしたが、関りがある生物までの情報にたどり着けなかった。どちらも収集や飼育が難しい魚類であるが調べてみたいと思う。

教育長 当時にどうやって獲ったのかにも興味がある。

会長 その辺も含めて水族館で調べて頂きたい。

委員 A 蛇足であるが、もしシラウオが入手できなかった時は、江戸の佃島の佃煮を紹介しても良いかもしれない。

委員 B シラウオもアマダイも生体展示はたぶん難しいと思うがチャレンジしていただきたい。

イベントのなかの市制75周年記念事業 SDGs 水中演劇とはどのような内容か。

事務局 市制75周年を迎えるにあたり、水族館からも何か話題を発信できないかと求められていたところ、海中に沈んでいるゴミ問題を啓発するSDGsにつながる公開イベントとして、人魚の恰好をした女性が大水槽に潜水して行う水中演劇を計画している。

会長 令和5年度事業計画について承認の挙手を求める。

全員 挙手

会長 令和5年度事業計画について承認されたことを確認した。

(2) 報告事項

ア 令和4年度碧南海浜水族館運営研究会議について

運営研究会議委員代表 <当日配布資料により説明>

イ 碧南海浜水族館の設置及び管理に関する条例一部改正について

事務局 <資料3により説明>

会長 何かご意見、ご質問はないか。

特にないが、「ウ その他」で何かないか。

ウ その他

特になし。

(3) 連絡事項

ア 令和5年度第1回碧南海浜水族館協議会について

会長 報告事項(1) 令和5年度第1回碧南海浜水族館協議会の開催日程について事務局の説明を求める。

事務局 次年度の第1回協議会は5月下旬を、第2回協議会は2月中旬を、それぞれ15:30～に開催を予定している。

今回の協議会につきまして、近日中に今回の議事録の素案を各委員に送るので、点検をお願いします。

会長 これで議事の一切を終わる。